

長野県植物研究会第 199 回及び 200 回例会の報告 その 1

大塚 孝一 *

第 199 回及び 200 回例会 (2011 年 9 月 10 日 ~ 11 日) は、白馬村塩島塩島城址と白馬村平川谷で行われました。

1 日目 199 回の参加者は、中山洸、佐藤利幸、島野光司、小口好久、蛭間啓、笠原光枝、多田景子、佐々木あや子、星山耕一、篠原喜運、安齊好弘、神林清文、中村千賀、坪井勇人、尾関雅章、横井力、平田大輔、戸谷彌生、中西由美子、早坂祥彦、大塚孝一、草間勉、白木真樹子、吉沢敏江、宮島陽子 (以上宿泊あるいは懇親会出席)、廣江伸作、廣江祐子 (27 名)。宿泊は、白馬村北城切久保の「よこや別館」でした。幹事：大塚孝一。

2 日目 200 回の参加者は、中山洸、佐藤利幸、島野光司、小口好久、蛭間啓、笠原光枝、多田景子、佐々木あや子、星山耕一、篠原喜運、安齊好弘、神林清文、中村千賀、坪井勇人、尾関雅章、平田大輔、戸谷彌生、中西由美子、早坂祥彦、大塚孝一、白木真樹子、吉沢敏江、宮島陽子、廣江伸作、廣江祐子、清水理恵、小林正明、堤久、井出靖、橋渡勝也、藤田淳一 (31 名)。

1 日目は午後 1 時に白馬村信濃森上駅前に集合し、そこから 10 分ほど歩いて塩島城址入り口に行きました。天気は快晴で、秋の白馬連峰がきれいに



写真 1 白馬村塩島城址での観察

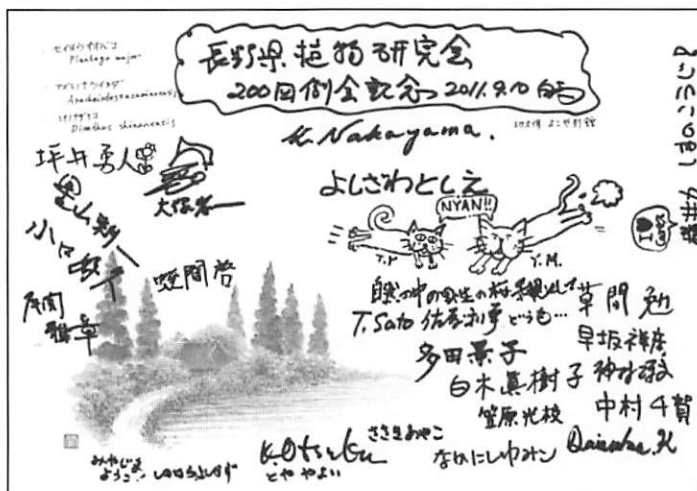


写真 2 200 回例会記念色紙

* 大塚孝一 〒380-0952 長野市宮沖 199-1

見えました。城址はスギ林の中にあり、歩道も人がひとり歩ける程度の広さでほとんど森林の中にあり植物観察には大変良い場所です。適度な湿り気があって特にシダ植物が多く、ホソバナライシダ、キヨタキシダ、シノブカグマ、ミヤマイタチシダ、ヤマドリゼンマイ、ミゾシダなどが多く見られ、また、ベニシダやイワガネソウ、イノデ、ヤワラシダといった暖温帯性のシダもあり、不思議な場所でした（写真1）。

夕食時の懇親会では、200 回記念の例会となることから、地元にいる坪井勇人さんから「白馬の植物やお勤め先の五竜植物園の紹介」と尾関雅章さんから「八方尾根の蛇紋岩地植生」のスライド上映を行っていただきました。明日行く平川谷は八方尾根

の蛇紋岩地帯ということもあり、その特性など勉強になりました。また、宿の夕食時に使われた紙を色紙代わりにして、参加者のサインをいただきました（写真2）。

2 日目は朝、宿の前に 8 時 30 分に集合し、写真を撮って平川谷に向け車で出発しました（写真3）。

車道沿いを進み、思い思いに観察をしながら上流を目指しました。見慣れない大きなオオバコがあり、藤田淳一さんから「セイヨウオオバコ」と教えてもらいました。大型で葉はやや光沢があり、果実の横断面で 6～7 個の種子があるとのこと（オオバコでは 4 個）。蛇紋岩地ということもあり、イワシモツケやシナノナデシコなどが見られました。詳細は、藤田淳一さんの報告参照。



写真3 集合写真



写真4 白馬村平川谷での観察